

## “日本食の良さ” 日本のご当地食材のもつ有用な機能

～ 医業に頼らない健康体の実現に向け健康維持に大切な「食」の役割 ～

日 時: 2019年11月28日(木)

14:30～18:00 (14:15開場 定員60名)

場 所: (一財) バイオインダストリー協会

(地下鉄日比谷線「八丁堀駅」下車すぐ) <https://www.jba.or.jp/access/>

14:30～14:40 はじめに

14:40～17:30 御講演\*

17:30～18:00 継続ディスカッション・交流会・名刺交換会

\*本講演は同日12-14時で開催する第3回JBA機能性食品研究会とのジョイントイベントとして行います。

### 講演1

「市民の健康づくりはどのようにして行う? : 青森県の短命県返上活動とCOI」

弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授 中路重之氏

青森県の平均寿命延伸を大テーマに弘前大学COIを中心に進める取り組みを紹介。

「産官学民の真の連携、すなわちオープンイノベーションなくして目的達成は無し」を理念に推進オープンイノベーションを起こすためのプラットフォーム構築について、弘前大学COIでの具体的な作業・活動を紹介頂く。

### 講演2

「和食は長寿食! ? ～健康的日本食のススメ～」

東北大学大学院農学研究科 准教授 都築毅氏

日本人の平均寿命は伸び続け世界有数の長寿国となり、健康寿命も長いことが知られている。日本人が健康長寿である理由は、欧米人と異なる特徴的な食生活に起因し、「日本食」が多様な食素材を使用、健康維持に有効な成分を数多く含んでいるためとされる。本講演では、どの時代の日本食が健康維持に有益かを詳細に検討した研究で得られた知見を基に、日本食の健康有益性について紹介いただく。

講演会参加費: JBA法人会員: 無料 JBA個人会員(アカデミア所属): 無料  
JBA法人会員でない企業(事業者)に所属する個人会員: 5,000円(税込)  
非会員: 10,000円(税込)

申込先: 講演会参加希望者は11月22日(金)までに、  
JBAホームページからお申込み下さい <https://www.jba.or.jp/>

問合先: (一財) バイオインダストリー協会 先端技術・開発部  
(担当: 近藤・矢田) 電話: 03-5541-2731

## 講師紹介

### 中路重之

#### 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授



昭和54年3月 弘前大学医学部卒業

平成16年9月～平成29年3月 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授

平成24年2月～28年1月 弘前大学大学院医学研究科長(兼医学部長)

平成25年4月～ 弘前大学COI拠点長

平成29年4月 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授、現在に至る  
所属学会 体力栄養免疫学会(会長)

専門 地域保健、スポーツ医学、など

著書 Dr中路が語るあおもり県民の健康(東奥日報社)

役職 青森県総合健診センター理事長

青森県医師会健やか力推進センター長

青森県寿命アップ推進会議副委員長

※青森県の最短命県返上を目指して、弘前大学COI拠点長として、  
産官学民のオープンイノベーションによる活動を展開している。

### 都築 毅

#### 東北大学大学院農学研究科 准教授



1975年 愛知県豊田市生まれ

2005年 東北大学大学院農学研究科博士課程後期3年の課程修了

2005年 宮城大学食産業学部助手

2007年 宮城大学食産業学部助教

2008年 東北大学大学院農学研究科准教授

\* 専門 食品機能学、栄養化学、健康科学、予防医学

\* 研究対象

「日本食(和食)の健康有益性の解明」

「老化や老化性疾患、生活習慣病を制御する食品開発」

「妊娠・授乳期の母親の栄養状態が子供に与える影響」など

\* 受賞 日本農芸化学会奨励賞、日本栄養・食糧学会奨励賞など

\* メディア出演 世界一受けたい授業、NHKスペシャルなど

\* 趣味 フルーツ、育児など